

セントジョージマラソン国際交流

九月二十八日(水)から十月六日(木)までの九日間、今年で十六回目となるアメリカ・ユタ州・セントジョージ市とのマラソン国際交流事業が行われました。

今年、十三人の派遣団を結成し、去年のいびがわマラソンの上位者がランナーとしてセントジョージマラソンに参加しました。

また、宗宮町長らが同市を訪問し、セントジョージ市・揖斐川町の交流をさらに深めました。

派遣団は、現地でそれぞれかれ、ホームステイをし、文化・習慣の違いを学びながら、ホストファミリーと交友のひとつを過ぎました。

そして、十月一日(土)に行われたセントジョージマラソンでは、観客の温かい声援に包まれ、派遣団全員が完走され、吉田雅広さんが総合五位に入賞するなど選手の皆様は健闘しました。

そこで今回の派遣団からセントジョージマラソンに参加されたランナーの皆さんの感想を紹介し

セントジョージマラソン参加者成績

吉田雅広 (いびがわマラソン 2004 男子総合 1位)	2時間26分43秒	5位
福安ひふみ (いびがわマラソン 2004 女子総合 1位)	3時間00分44秒	124位
山本雅樹 (いびがわマラソン 2004 町内男子優秀選手)	3時間27分53秒	649位
高橋寿子 (いびがわマラソン 2004 町内女子優秀選手)	4時間35分01秒	3068位

取材を受けました。セントジョージマラソンにおいて、宗宮町長が現地の地方紙「スペクトラム」から

Takao Somiya, mayor of St. George's own sister city, Ibigawa, Japan, was at the finish line to cheer on five runners from Japan. Through an interpreter, Mayumi Yamazaki, Somiya said that while the winding, varied terrain of the St. George course seemed more difficult than Ibigawa's course, the track was significantly wider. Ibigawa's race runs next to the Ibi River along a very narrow street. Somiya said he has gained much from visiting the St. George race — after his visit in 2001, he took home the idea of incorporating a Mayor's walk. In its third year, the Mayor's walk has grown in popularity. Somiya was impressed with the enthusiasm of individual volunteers. In Japan, the city must encourage businesses and groups to support the race, but few individuals take the initiative alone.

セントジョージ市の姉妹都市である揖斐川町の宗宮孝生町長が、ゴール地点で日本から参加した5人の選手に声援を送りました。宗宮町長は通訳の山崎真由美さんを通して、「セントジョージマラソンのコースの多様な地形はいびがわマラソンのコースより難しそうだが、道はかなり広い。いびがわマラソンのコースはかなり狭い道を揖斐川沿いに走っています。」と語りました。また、宗宮町長は、「セントジョージマラソンの視察から多くのものを得ています。2001年の視察で、ウォーキングのアイデアを持ち帰りました。3年目に入り、ウォーキングの人気も出てきました。」と語りました。宗宮町長は、個人ボランティアの熱意に感銘を受けました。日本では町は企業や団体に働きかけてレースを支援してもらわなくてはならないが、個人だけで主導していることは少ないです。

要約

2005年10月2日
THE SPECTRUM, A9

